

# 2025年度（2026年3月期） 第3四半期決算 補足説明資料

DNP

未来のあたりまえをつくる。

2026年2月13日  
大日本印刷株式会社

# 2025年度第3四半期 決算概要

DNP

	(単位：億円)		
	2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	増減率
売上高	10,790	11,282	+4.6%
営業利益	626	763	+21.8%
経常利益	797	875	+9.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,160	854	▲26.4%

	2025年度 期初 業績予想	進捗率
	15,000	75.2%
	940	81.2%
	1,050	83.3%
	900	94.9%

	2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	増減率
設備投資額	461	663	+43.7%
研究開発費	286	311	+9.0%
減価償却費	397	379	▲4.7%

	2025年度 期初 業績予想	進捗率
	800	82.9%
	390	79.9%
	500	75.8%

## 2025年度第3四半期の概況

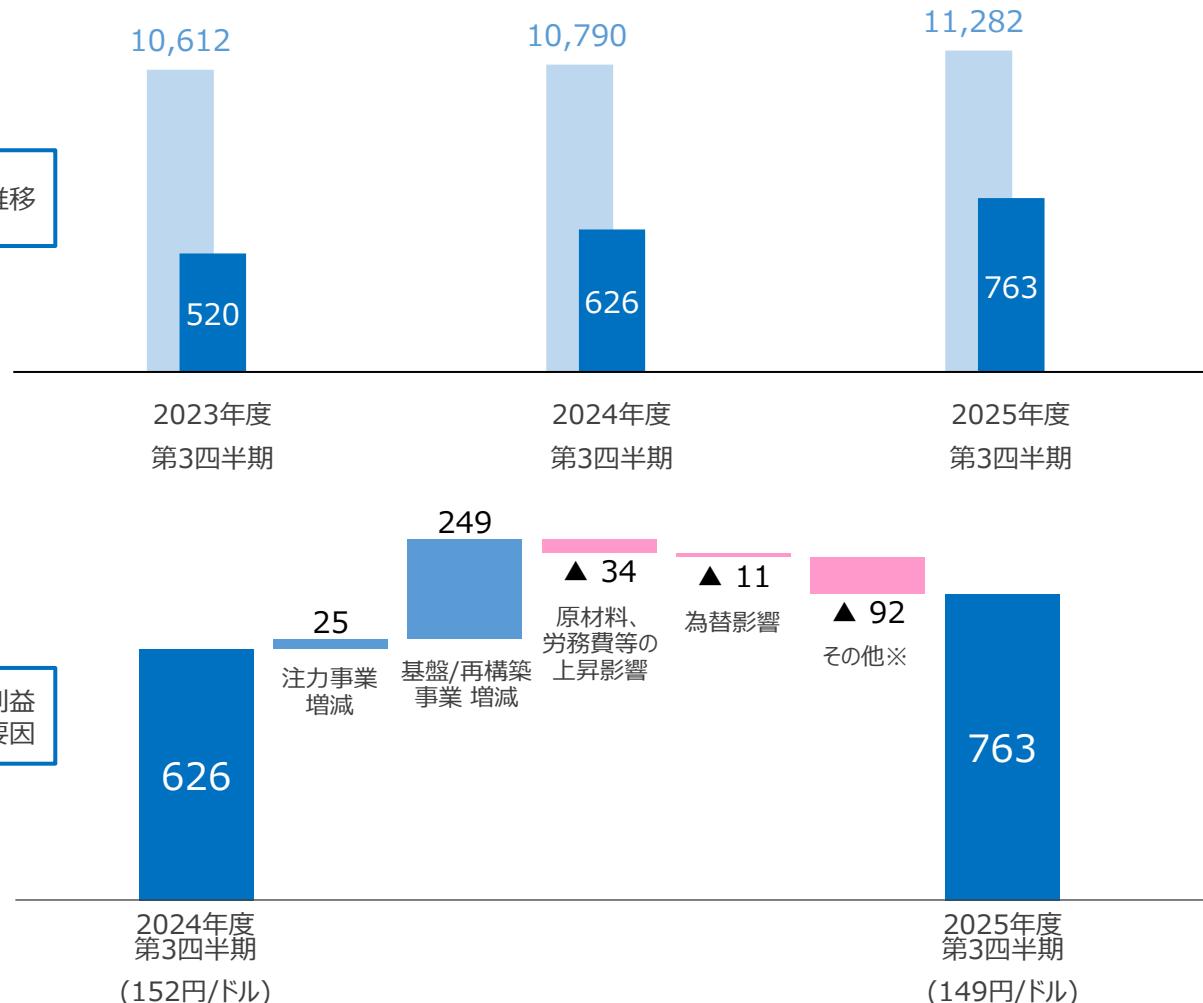
- ✓ 売上高は、注力事業領域を中心とした新しい価値の創出を加速し、前年から増加
- ✓ 営業利益は、注力事業の拡大に加えて事業構造改革が着実に寄与し、前年から増加
- ✓ 純利益は、政策保有株式売却による受取配当金の減少による影響のほか、固定資産および投資有価証券売却益の減少により減益となったものの、期初業績予想を上回って進捗

※ 通期業績予想を上方修正（8,9ページ）

# 2025年度第3四半期決算概要：対前年営業利益増減要因

(単位：億円) **DNP**

■ 売上高（左） ■ 営業利益（右）



## 2025年度第3四半期の概況

- ✓ 注力事業は、デジタルインターフェース関連や太陽電池関連の需要が好調に推移
- ✓ 基盤/再構築事業は、イメージングコミュニケーション関連が米国市場を中心に伸長したほか、情報セキュア関連においてBPOの大型案件が寄与
- ✓ 構造改革として実施した出版関連、マーケティング関連、生活空間関連の組織再編や、包装関連等の収益体质改善も増益に貢献

※ 退職給付費用 (▲54)  
その他セグメントに帰属しない調整額を含む

# 2025年度第3四半期決算概要：セグメント別業績一覧

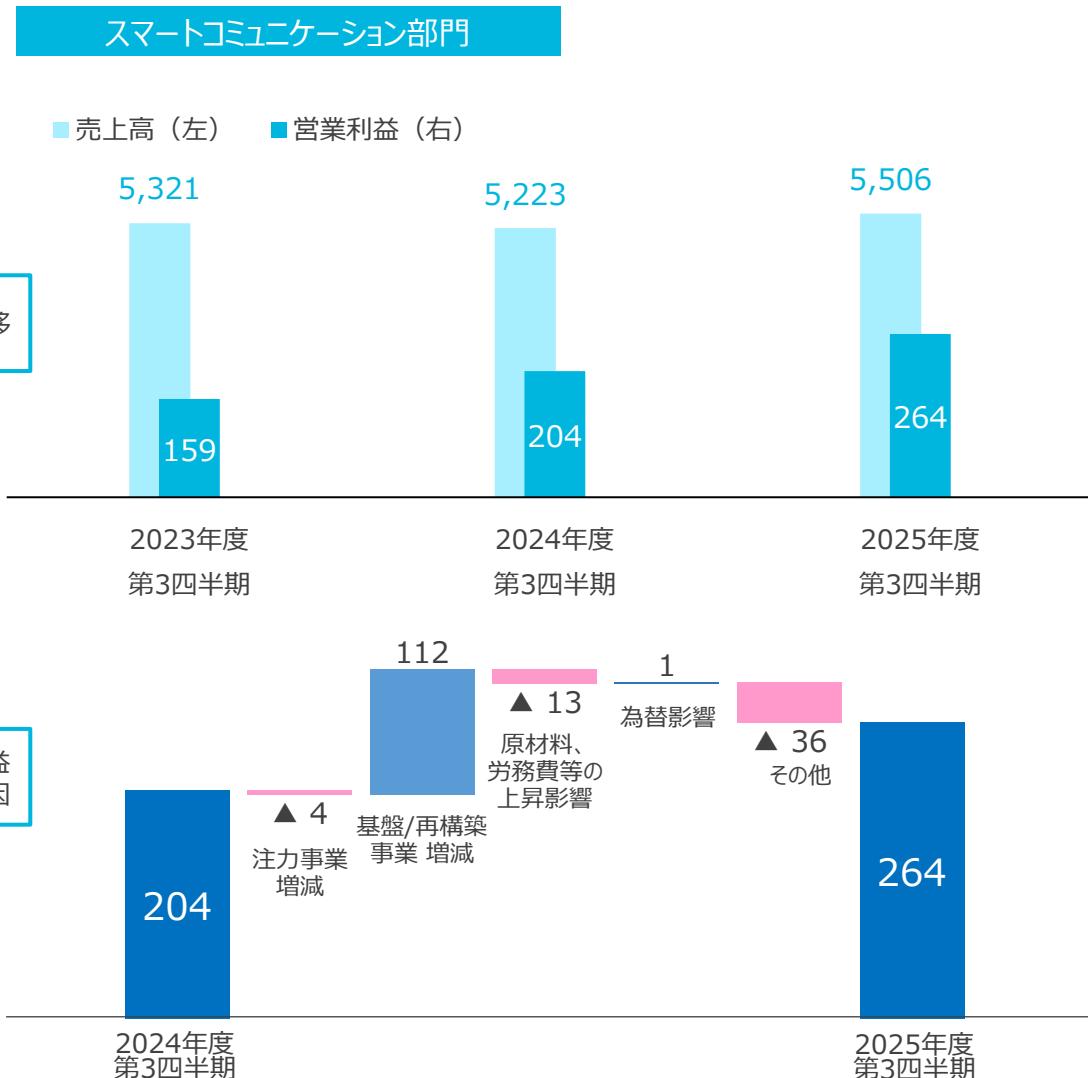
DNP

(単位：億円)

		2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	増減率	前年差
スマート コミュニケーション	売上高	5,223	5,506	+5.4%	283
	営業利益	204	264	+29.8%	60
ライフ& ヘルスケア	売上高	3,746	3,904	+4.2%	158
	営業利益	167	284	+69.9%	117
エレクトロニクス	売上高	1,834	1,888	+3.0%	54
	営業利益	426	416	▲ 2.4%	▲ 10
調整	売上高	▲ 14	▲ 18	-	▲ 4
	営業利益	▲ 171	▲ 202	-	▲ 31
合計	売上高	10,790	11,282	+4.6%	492
	営業利益	626	763	+21.8%	137

# 2025年度第3四半期決算概要：セグメント別業績

(単位：億円) **DNP**



## 2025年度第3四半期の概況

- ✓ イメージングコミュニケーション関連は、新型プリンターの需要増加等が寄与し、写真プリント用部材が欧米・アジア市場で好調に推移したほか、IDカード用インクリボンが増加
- ✓ 情報セキュア関連は、デュアルインターフェイス※のICカードが前年から減少したものの、BPOの大型案件などが寄与
- ✓ 出版関連は雑誌等の市場縮小が継続するも、組織再編による効率化がすすんだことに加え、図書館運営業務が好調に推移

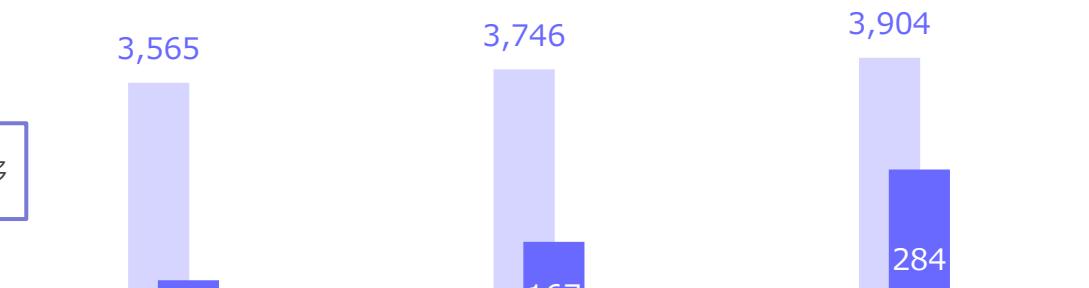
※ 1つのICチップで接触型と非接触型の2つのインターフェイスを備えるカード

# 2025年度第3四半期決算概要：セグメント別業績

(単位：億円) **DNP**

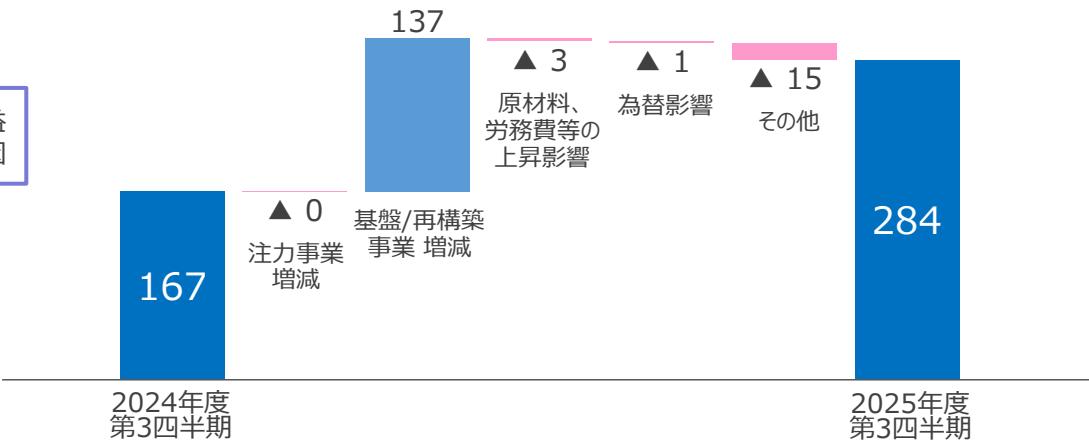
## ライフ&ヘルスケア部門

■ 売上高（左） ■ 営業利益（右）



業績推移

営業利益  
増減要因



## 2025年度第3四半期の概況

- ✓ モビリティ・産業用高機能材関連は、リチウムイオン電池用バッテリーパウチがIT向けは堅調に推移したものの、車載向けは米国のEV向け補助金終了の影響を受けた
- 太陽電池関連において、電極やセル等を保護する封止材の生産能力を従来の2倍に増強する新生産ラインを泉崎工場（福島県）に導入し、2025年10月に稼働を開始
- ✓ 包装関連は、紙カップやチューブ容器が好調に推移したほか、材料調達の見直しや生産性改善等による収益体质強化が増益に寄与

# 2025年度第3四半期決算概要：セグメント別業績

(単位：億円) **DNP**

## エレクトロニクス部門

■売上高（左） ■営業利益（右）

1,744

423

2023年度  
第3四半期

1,834

426

2024年度  
第3四半期

1,888

416

2025年度  
第3四半期

業績推移

注力事業  
増減

30

▲ 18  
原材料、  
労務費等の  
上昇影響

▲ 18

▲ 11  
為替影響

▲ 11

▲ 11  
その他

▲ 11

営業利益  
増減要因

426

416

2024年度  
第3四半期

2025年度  
第3四半期

## 2025年度第3四半期の概況

- ✓ デジタルインターフェース関連は、有機ELディスプレイ製造用メタルマスクが、スマートフォンの有機ELディスプレイ採用拡大や、第8世代サイズのガラス基板向けの寄与により増加
- ✓ ディスプレイ用光学フィルムは、液晶テレビ用パネルの大型化にともなう出荷面積の拡大等により増加
- ✓ 半導体関連は、市況が堅調に推移し前年を上回るとともに、EUV（極端紫外線）マスクやナノインプリントなどの最先端領域への事業展開に注力

# 2025年度第3四半期決算概要：注力事業・基盤事業の概況

(単位：億円) **DNP**

		2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	売上概況 矢印は売上高の前年比		
スマート コミュニケーション 部門	セグメント 売上高	5,223	5,506	イメージング コミュニケーション関連		写真プリント用部材が新型プリンターの需要増等により好調だったほか、IDカード用インクリボンが堅調に推移し、前年を上回った
	セグメント 営業利益	204	264	情報セキュア関連		デュアルインターフェイスのICカードが前年から減少したものの、BPOの大型案件などがあり、前年を上回った
ライフ& ヘルスケア 部門	セグメント 売上高	3,746	3,904	コンテンツ・XR コミュニケーション関連		教育分野、行政サービスを中心とした地域連動XRサービスを充実させ、各自治体に提供を進めている
	セグメント 営業利益	167	284	産業用高機能材関連		バッテリーパウチはIT向けは堅調に推移したものの、車載向けは米国のEV向け補助金終了の影響を受け、前年を下回った
	セグメント 営業利益	167	284	モビリティ関連		自動車向け加飾フィルムは内装用の販売が堅調に推移。DNP光金属とともに、ハイエンドHMI領域に事業を拡大。
エレクトロ ニクス 部門	セグメント 売上高	1,834	1,888	メディカル・ヘルスケア関連		医療用パッケージが好調に推移したほか、国内での製剤事業も堅調に推移し、前年を上回った
	セグメント 営業利益	426	416	光学フィルム		液晶テレビ用パネルサイズの大型化にもなう出荷面積の拡大等により、堅調に推移した
	セグメント 営業利益	426	416	有機ELディスプレイ 製造用メタルマスク		スマートフォンでのOLEDパネル採用拡大や黒崎工場で生産を開始した大型メタルマスクが寄与し、前年を上回った
	セグメント 営業利益	426	416	半導体関連		市況が堅調に推移する中で、前年を上回るとともに、最先端領域への事業展開へ取り組んだ

# 2025年度業績予想（修正あり）

(単位：億円) **DNP**

【全社】	2024年度 実績	2025年度 業績予想	修正後	対前年 増減率 (差)
売上高	14,576	15,000	15,150	+3.9%
営業利益	936	940	1,030	+10.0%
営業利益率	6.4%	6.3%	6.8%	+0.4pt
経常利益	1,159	1,050	1,160	+0.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,106	900	1,000	▲9.7%
ROE	9.6%	8.0%	8.7%	▲0.9pt
設備投資額	766	800	850	+10.9%
研究開発費	375	390	410	+9.2%
減価償却費	537	500	500	▲6.9%

【セグメント別】		2024年度 実績	2025年度 業績予想	修正後	対前年 増減額 (差)
スマート コミュニケーション	売上高	7,155	7,300	7,450	+295
	営業利益	346	330	380	+34
ライフ& ヘルスケア	売上高	4,960	5,170	5,170	+210
	営業利益	237	300	350	+113
エレクトロ ニクス	売上高	2,477	2,550	2,550	+73
	営業利益	573	570	570	▲3
調整	売上高	▲ 17	▲ 20	▲20	▲3
	営業利益	▲ 222	▲ 260	▲270	▲48
合計	売上高	14,576	15,000	15,150	+574
	営業利益	936	940	1,030	+94

通期為替レート：期初見込140円/ドル  
関税影響：期初見込▲5億円  
(直接影響のみ)

現状見込150円/ドル  
現状見込▲21億円  
影響額 +55億円  
差額 ▲16億円

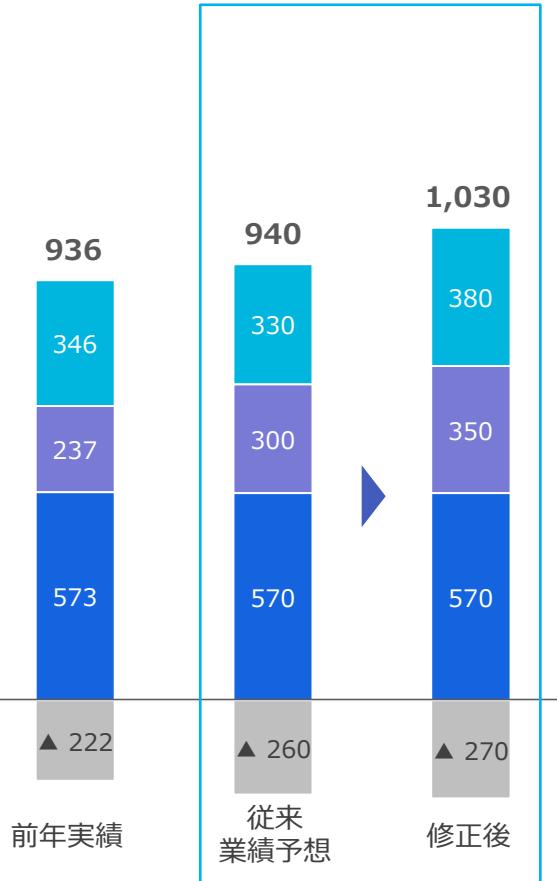
# 2025年度業績予想：従来業績予想との対比

(単位：億円) **DNP**

## ■売上高



## ■営業利益



### スマートコミュニケーション

イメージングコミュニケーション関連の写真プリント用部材が欧米・アジア市場で好調に推移したほか、為替による効果なども寄与し、売上、営業利益とも従来業績予想を上回る見込み

### ライフ&ヘルスケア

包装関連において売上が堅調に推移したほか、生産性改善等による収益体质の強化が計画以上に進捗し、従来業績予想の営業利益を上回る見込み

### エレクトロニクス

設備および開発投資により半導体製造用フォトマスクの固定費が増加するも、デジタルインターフェース関連が堅調に推移し、従来業績予想どおりの売上、営業利益となる見込み

未来のあたりまえをつくる。



## 免責事項

本資料における業績予想及び中期的な経営目標等、将来予想に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により、これらの将来予想とは異なることがあることをご承知おきください。